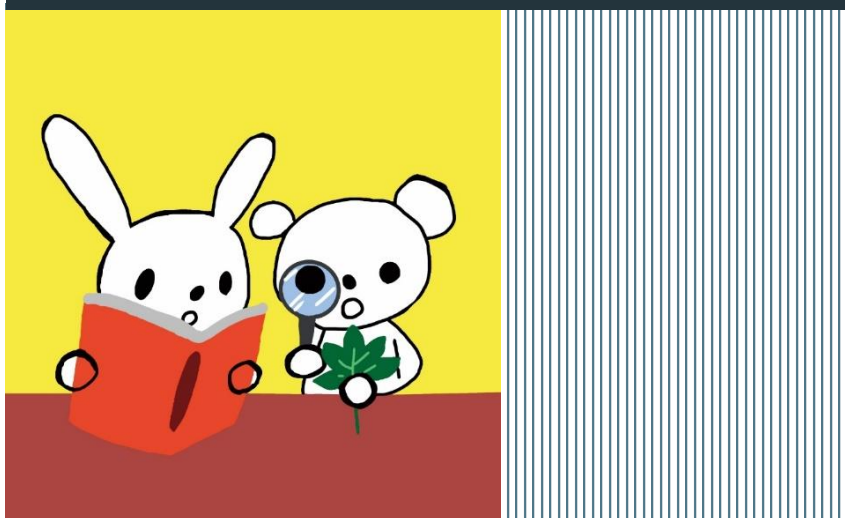


豊田市 中央図書館 運営基本方針



令和7年3月

豊田市教育委員会 図書館管理課

目次

1	はじめに	P 1
2	基本方針の趣旨	P 2
3	基本方針が適用される期間	P 3
4	基本理念	P 3
5	あるべき図書館像	P 4
	(1) 一人一人の「〇〇したい」につながる場	P 4
	(2) 子どもを育む場	P 6
	(3) 心安らぐ場	P 8

巻末付録

豊田市中心図書館運営基本方針改定のためのアンケート調査結果
(令和5年9月22日から10月10日まで実施)

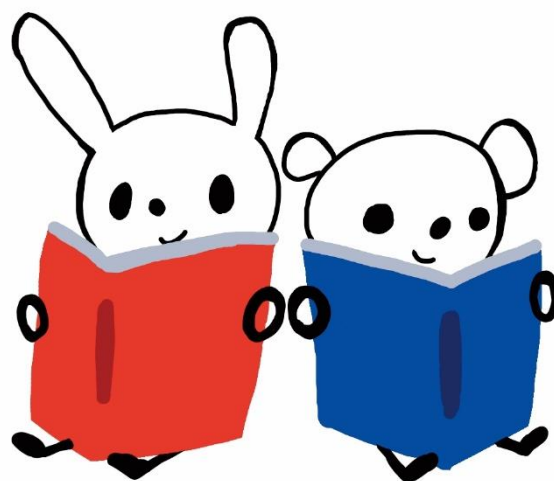
1 はじめに

「豊田市中心図書館運営基本方針（以下、基本方針）」は、平成27年1月に、当時の社会情勢を踏まえ、あらゆる市民にとって存在意義のある図書館となるよう変革するために策定されました。以後、基本方針に基づいた運営を行い、市民に利用され、役に立つ図書館を実現すべく努めてきました。

しかし、策定から10年が経ち、当時から大きく変化した社会環境の中で古い基本方針をそのまま継承していても、より良い図書館は実現できません。

そこで、公共図書館として果たすべき基本的な「情報提供・情報発信」「子どもの読書活動の推進」等の役割を念頭に置きながらも、急速な生活様式や情報媒体の変化、そして図書館に求められるようになった新たな「居場所」としての役割に対応し、市民にとってより良い「豊田市の図書館」として進化し続けるために基本方針を改定します。

改定にあたり、令和5年9月に実施した市全域を対象とする「豊田市中心図書館運営基本方針改定のためのアンケート調査」の結果を考慮しました。



中央図書館イメージキャラクター
よみりん かたるん

2 基本方針の趣旨

この基本方針は、関係法令及び計画に基づき、「豊田市中央図書館」の運営の方向性を定めるものです。また、分館「豊田市こども図書室」にも、この基本方針の考え方を一部準用します。

ネットワーク館※に関しては、蔵書資料のみ、基本方針の考え方を適用します。

<関係法令等>

図書館法（昭和 25 年 4 月 30 日法律第 118 号）

子どもの読書活動の推進に関する法律（平成 13 年 12 月 12 日法律第 154 号）

豊田市中央図書館条例（昭和 40 年 12 月 23 日条例第 45 号）

図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成 24 年 12 月 19 日文部科学省告示第 172 号）

<関係計画等>

第 4 次豊田市教育行政計画（令和 4 年 3 月）

豊田市子ども読書活動アクションプラン（2022～2025）（令和 4 年 3 月）

※ ネットワーク館とは

市内の交流館及びコミュニティセンターの図書室や図書コーナー等を、ネットワーク館として位置付けています。ネットワーク館には、中央館・こども図書室と同じ図書館システムの端末を導入し、資料のやり取りをするための配送便を実施することで、「どこでも借りられ、どこでも返せる」サービスを提供しています。また、蔵書資料は中央図書館が蔵書構成のバランスを考えながら購入しています。

3 基本方針が適用される期間

この基本方針が適用される期間は、令和7年度から令和14年度までの8年間とします。
なお、関係法令及び計画の改定等によりこの基本方針を見直す必要が生じた場合は、期間の途中であっても見直しを行います。

4 基本理念

豊田市中心図書館は、次のキャッチフレーズを基本理念に掲げます。

あなたの「^{あす}明日」を支える知の拠点

当館は、市民一人一人の毎日と未来を豊かな蔵書で支える知的空間であるとともに、心安らぐ居場所となることを目指します。

5 あるべき図書館像

現在の図書館を取り巻く情勢の中で基本理念を達成するために、「あるべき図書館像」を3つに整理しました。

(1) 一人一人の「〇〇したい」につながる場

(2) 子どもを育む場

(3) 心安らぐ場

これらの「あるべき図書館像」を実現し、市民に親しまれ、利用される場所となるように図書館運営を行います。また、図書館が特に重点を置いて取り組む事業についても併記します。なお、掲載する事業だけではなく、「あるべき図書館像」実現に必要な事業は積極的に取り組みます。

(1) 一人一人の「〇〇したい」につながる場

図書館は、「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教育、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」と図書館法に規定されています。市民は当然一人一人に個性があり、興味を引かれること・ワクワクすること・知りたいこと・やりたいこともそれぞれです。

豊田市の図書館は、幅広い領域を不足なく網羅した豊富な蔵書構成の維持と資料の管理、また、資料を活用した知的好奇心をかき立てる多彩なイベントの開催、多様な属性の利用者・利用方法を想定したサービスの実施をすることで、市民一人一人の知的な欲求に応え、読書や調査、学習を始めとした知的な活動に役立つ場所を提供します。

あるべき図書館像実現のためのキーワード

ア 知的好奇心をかき立てワクワクする生涯学習の拠点となる図書館

イ 誰もが読書に親しめる、全ての人にやさしい図書館

ウ 人を通して本とつながる、本を通して人とつながる図書館

ア 知的好奇心をかき立てワクワクする生涯学習の拠点となる図書館

利用者それぞれの知的好奇心や読書欲をかき立てる資料を提供し、市民にとって生涯にわたる学びの場所になります。

実現のために取り組む事業

- ・ 豊富で幅広い蔵書の構成と適切で創造的な管理
 - …別に定める資料収集方針に則り、利用者の幅広い興味関心に対応できるように計画的な資料収集を行います。特に、自動車資料・郷土資料等の市の図書館の特色となる資料を収集し、中央図書館の誇りとなる蔵書を構成します。
 - …利用者の資料への関心を高め、読書機会を新たに創り出すために、工夫を凝らした質の高い特集展示コーナー等の企画・設置を行います。
- ・ 「〇〇したい」につながるイベントの実施、情報提供・発信
 - …利用者の知りたい・やりたいにつながる知的好奇心を満たすイベントや講座を企画し、開催します。
 - …図書館職員が利用者の求める情報や資料を探して提供する「レファレンスサービス」を充実させ、利用者の学びを支援します。
 - …関心のある図書館サービスやイベント・講座の情報に全ての市民が辿り着き、満足して利用できるよう、積極的に情報を発信しPRを行います。

イ 誰もが読書に親しめる、全ての人にやさしい図書館

年齢や性別、障がい、母語等、様々な属性の利用者が自分の使いたい方法で図書館を利用して平等に読書ができるようにします。

実現のために取り組む事業

- ・ 多岐にわたる利用方法の支援
 - …電子図書館を始めとする非来館型サービスやネットワーク館と図書館システムをつなぐ「どこでも借りられ、どこでも返せる」体制の充実等を図り、利用者が様々な形で図書資料に触れられるようにサービスを提供します。
- ・ 利用者の多様性への対応
 - …点字図書や音訳図書をはじめとした視覚障がい者等が利用しやすい方式で作られた書籍・電子書籍（読書バリアフリー法上の「アクセシブルな書籍」）の収集に努め、読書バリアフリーを推進します。その他、多言語の資料等、利用者それぞれの需要に対応する資料を収集します。

…障がい者サービスコーナーや館内表示の多言語化等、多様な属性の利用者が利用しやすい仕組みを整えます。

・共生社会を理解するための各種イベントと職員研修の実施

…社会教育施設として、千差万別な個性を持つ市民が安心して自分らしく生きられる社会の実現に向け、講座やイベント等を通して啓発活動を行うとともに、職員研修にも積極的に取り組みます。

ウ 人を通して本とつながる、本を通して人とつながる図書館

利用者が求める本につなぐだけでなく、本を通して新たな興味や趣味との出会いや、本をきっかけとした人と人との出会いと交流を促す仕掛けを作ります。

実現のために取り組む事業

・人や施設との連携促進

…研修等の実施により「点訳」「音訳」等のボランティアを積極的に支援し、人と本をつなぐ人材を育成するとともに市民が活躍する場を創出します。

…駅前図書館という立地を活かした企画を実施し、図書館の利用促進を図ります。

…博物館や美術館などの市内他施設に働きかけ、市民の興味関心をかき立て知的な活動を促す連携事業を行います。

(2) 子どもを育む場

現代の子ども達は、「氾濫する情報から正しいものを選び、上手に取り扱う力」と「背景にある情報を読み取り、自分とは異なる立場を想像し理解する力」の両方を身につけることが必要です。図書館で様々な資料に触れ、本を読む経験は、子ども達の感性や表現力、創造力を伸ばすことにつながります。それだけでなく、図書館は子ども達が一人で、あるいは友達や保護者と自由に過ごし、のびのびと好奇心を育てることができる場所でもあります。

豊田市の図書館は、全ての子どもが自由かつ平等に本と親しむ機会を得られ、情報を活用する術を身につけられるように、家庭や学校、ボランティア、関係機関と連携し、子ども自身の意見を反映しながら、子どもの読書活動を推進し、図書館の役割を果たします。

あるべき図書館像実現のためのキーワード

ア 子どもへの切れ目のない読書活動支援

イ 家庭・園・学校・各種団体との連携

ア 子どもへの切れ目のない読書活動支援

乳児からティーンエイジャーまで、それぞれの世代に適した方法で子どもの読書活動を支援します。

実現のために取り組む事業

- ・子どもの個性や発達段階に応じた読書活動支援
…各年代向けのおはなし会、調べ学習支援等、子どもそれぞれに適した方法で、本や読書への導線となる事業を企画・実施していきます。また、それらの企画には、できる限り子ども達自身の意見を取り入れて、子どもの読書活動推進を図ります。
- ・こども図書室の充実
…「人と人とのぬくもりのある図書室」の実現を目指し、ボランティアが活躍している「豊田市こども図書室」については、今後も市とボランティアが共働して運営を継続します。更に市民に活用されるように、サービス向上を図ります。

イ 家庭・園・学校・各種団体との連携

子どもと図書館の双方向だけでなく、子ども達を取り巻く環境にある関係機関にも働きかけ、協力して子どもの読書活動を推進します。

実現のために取り組む事業

- ・子ども読書活動アクションプラン掲載事業の実施
…豊田市の子どもの読書活動推進の根幹となる「子ども読書活動アクションプラン」を、市の関係所管課や活動に関係する機関が連携しながら実施していきます。
- ・子どもと本をつなぐ人材の育成・支援
…子どもが本に興味を持ち、読書に親しむきっかけ作りに重要な役割を担う「読み聞かせ」や「製本（本の修理）」等の研修を実施し、ボランティアの活動を支援します。豊田市の図書館やこども図書室のみならず、学校や交流館等の他の施設で活躍するボランティアも含め、子どもの読書活動の推進に欠かせない人材を育成します。

(3) 心安らぐ場

近年図書館にはサードプレイスとしての機能が求められていると言われています。また、アンケート調査の結果等を踏まえても、市民は図書館に「過ごす場所」としての役割も期待していることがわかりました。

心安らかに過ごすことができる居場所には、清潔で快適で安全な空間の維持や、滞在に便利なサービスの用意といった条件を満たす必要があります。豊田市の図書館は、一人でも複数人でもどのような属性の人でも来館しやすい施設の特性を活かし、全ての市民にとって気軽に便利に、そして心安らかに滞在できる空間を提供します。

あるべき図書館像実現のためのキーワード

ア 目的に応じて過ごし方を選べる場

イ 来館しやすく安全・安心な場

ア 目的に応じて過ごし方を選べる場

利用者によって異なる過ごし方のニーズにできる限り応えられるように、現在の図書館の資源を活用しつつ利用方法の幅を広げます。

実現のために取り組む事業

- ・ 話せる場所、静かな場所など選べる座席や場所の設置の検討
…静かに読書や学習に集中したい人と家族や仲間と本について話をしたい人、ニーズの違う利用者それぞれが快適に過ごせるような仕組みづくりを検討します。

イ 来館しやすく安全・安心な場

様々な市民が利用する施設として、設備の維持管理や防犯対策の備えだけでなく、職員の対応方法やサービスの質の向上等を通じ、全ての利用者が安心して来館し滞在できる快適な場所づくりを行います。

実現のために取り組む事業

- ・ 利用者にやさしい空間づくり
…市民にとって気兼ねなく利用でき信頼できるやさしい図書館空間であるために、職員が常に館内に目を配り防犯対策を行います。また、様々なニーズがあることを認識し、適切なサービスを提供できるよう職員のスキルの向上を図ります。

・清潔な館内の維持と設備の保守点検・適切な修繕

…日常的に適切な清掃を行い、快適な空間を保ちます。また、館内に危険がないか、清潔さが保たれているかの確認を常日頃から行い、不具合があれば適切な対応が取れるように努めます。

基本理念

あなたの「明日^{あす}」を支える知の拠点

達成のためのあ る べ き 図 書 館 像

(1) 一人一人の「〇〇したい」につながる場

あ る べ き 図 書 館 像 実 現 の た め の キーワード

- ア 知的好奇心をかき立てワクワクする生涯学習の拠点となる図書館
- イ 誰もが読書に親しめる、全ての人にやさしい図書館
- ウ 人を通して本とつながる、本を通して人とつながる図書館

(2) 子どもを育む場

あ る べ き 図 書 館 像 実 現 の た め の キーワード

- ア 子どもへの切れ目のない読書活動支援
- イ 家庭・園・学校・各種団体との連携

(3) 心安らぐ場

あ る べ き 図 書 館 像 実 現 の た め の キーワード

- ア 目的に応じて過ごし方を選べる場
- イ 来館しやすく安全・安心な場

卷末付録

豊田市中心図書館運営基本方針改定のための アンケート調査結果

アンケート概要

1 実施時期

令和5年9月22日（金）～10月10日（火）

2 対象と調査方法

以下の3つの対象・方法でアンケートを実施した。

（1）E モニター（市内在住・在勤・在学の18歳以上の希望者によるアンケート）

あいち電子申請・届出システム上で回答。

（2）豊田市民（無作為抽出）

令和5年8月末時点で10歳以上の豊田市民の中から無作為に抽出した1,600名へ発送。アンケート用紙を同封した返信用封筒で返送し回答（紙媒体）か、アンケート用紙に印字されたQRコードからあいち電子申請・届出システム上で回答（電子媒体）か選択。

（3）来館者（来場者）等への配布・設置

中央図書館、豊田市国際交流協会（TIA）、男女共同参画センターに設置した。

中央図書館は3階エスカレーター横と5階入口付近にアンケート用紙を設置。図書館管理課職員による手配りも実施。

回答方法は紙媒体か電子媒体かを選択可能で、日本語のほか英語、中国語、ポルトガル語版を用意した。

3 回答状況

全回答数：1,233

※ 複数選択可能の設問や、無効となった回答があるため、結果の合計数とは必ずしも一致しない。

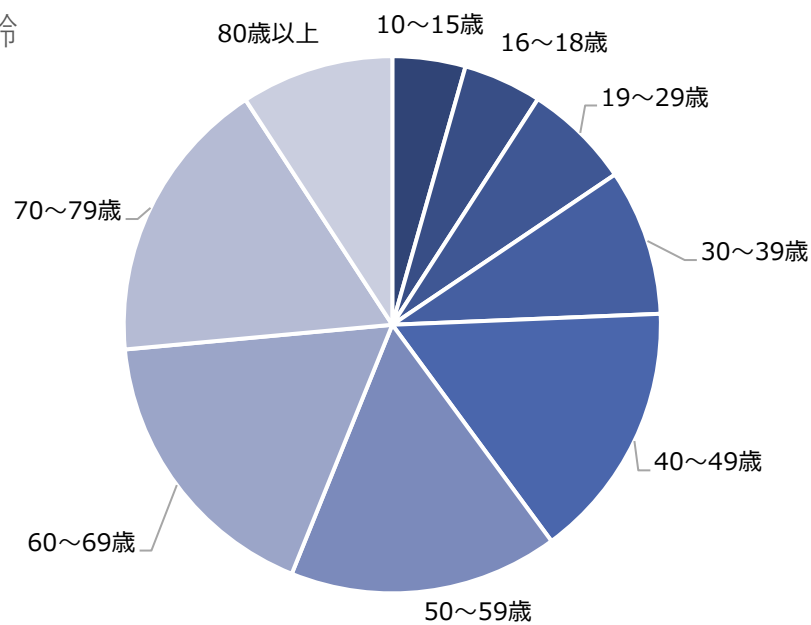
※ 掲載している割合は、原則、有効な回答の数を母数とする。

1 回答者の基本項目

問1 あなたの年齢を教えてください。

年齢	回答数	割合
10～15 歳	54	4.4%
16～18 歳	58	4.7%
19～29 歳	79	6.4%
30～39 歳	108	8.8%
40～49 歳	191	15.6%
50～59 歳	199	16.2%
60～69 歳	214	17.4%
70～79 歳	212	17.3%
80 歳以上	113	9.2%

問1 年齢

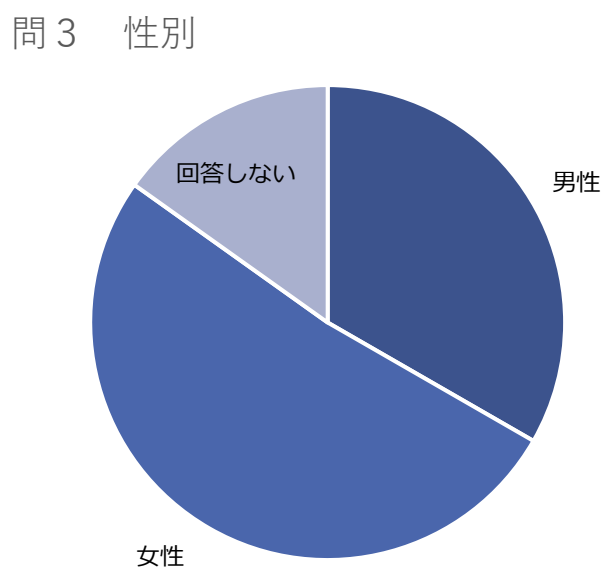
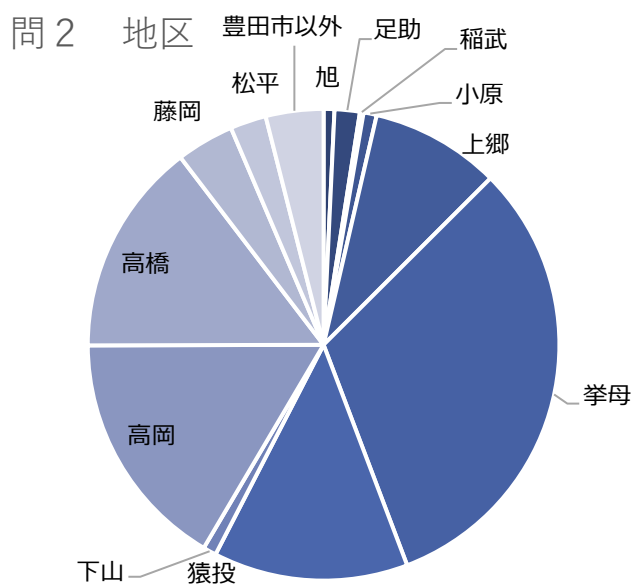


問2 あなたがお住まいの地域を教えてください。

地域	回答数	割合
旭地区（旭中）	9	0.7%
足助地区（足助中）	21	1.7%
稲武地区（稲武中）	3	0.2%
小原地区（小原中）	11	0.9%
上郷地区（上郷中、末野原中）	108	8.9%
拳母地区（逢妻中、朝日丘中、梅坪台中、崇化館中、浄水中、豊南中）	385	31.7%
猿投地区（井郷中、石野中、猿投中、猿投台中、保見中）	162	13.3%
下山地区（下山中）	11	0.9%
高岡地区（高岡中、前林中、竜神中、若園中）	200	16.5%
高橋地区（高橋中、益富中、美里中）	178	14.7%
藤岡地区（藤岡中、藤岡南中）	48	4.0%
松平地区（松平中）	30	2.5%
豊田市以外	48	4.0%

問3 あなたの性別を教えてください。

性別	回答数	割合
男性	409	33.3%
女性	633	51.5%
回答しない	186	15.1%



2 中央図書館（コミュニティセンター及び交流館図書室の図書室は除く）の利用

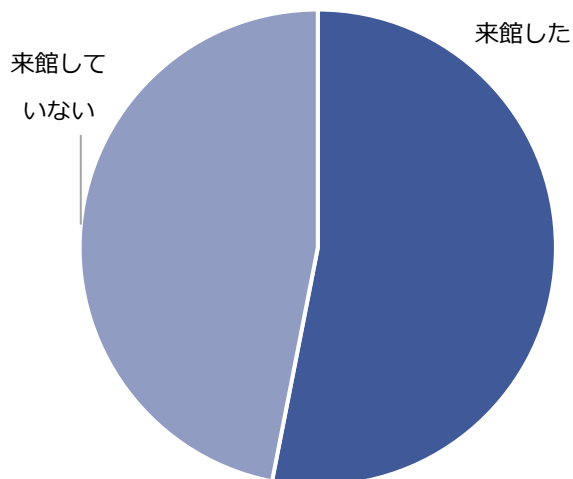
問4 この1年間に中央図書館に来館しましたか。

項目	回答数	割合
来館した	646	53.1%
来館していない	571	46.9%

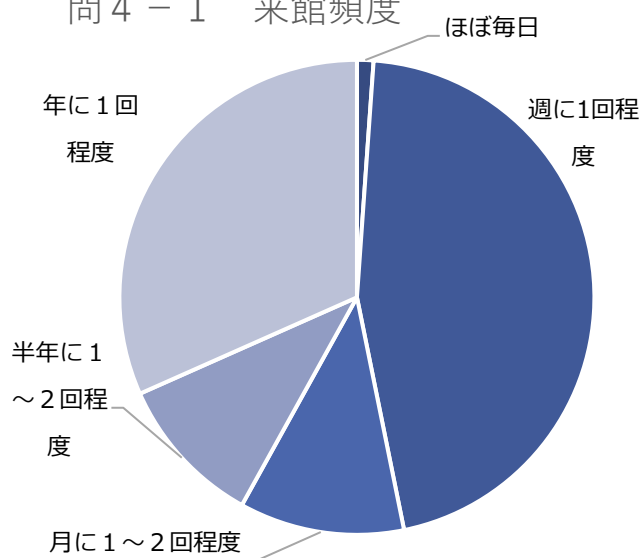
問4-1 問4で「来館した」を選んだ人にお聞きします。どの程度来館しましたか。

項目	回答数	割合
ほぼ毎日	38	6.0%
週に1回程度	132	20.8%
月に1～2回程度	234	36.9%
半年に1～2回程度	181	28.5%
年に1回程度	49	7.7%

問4 来館の有無



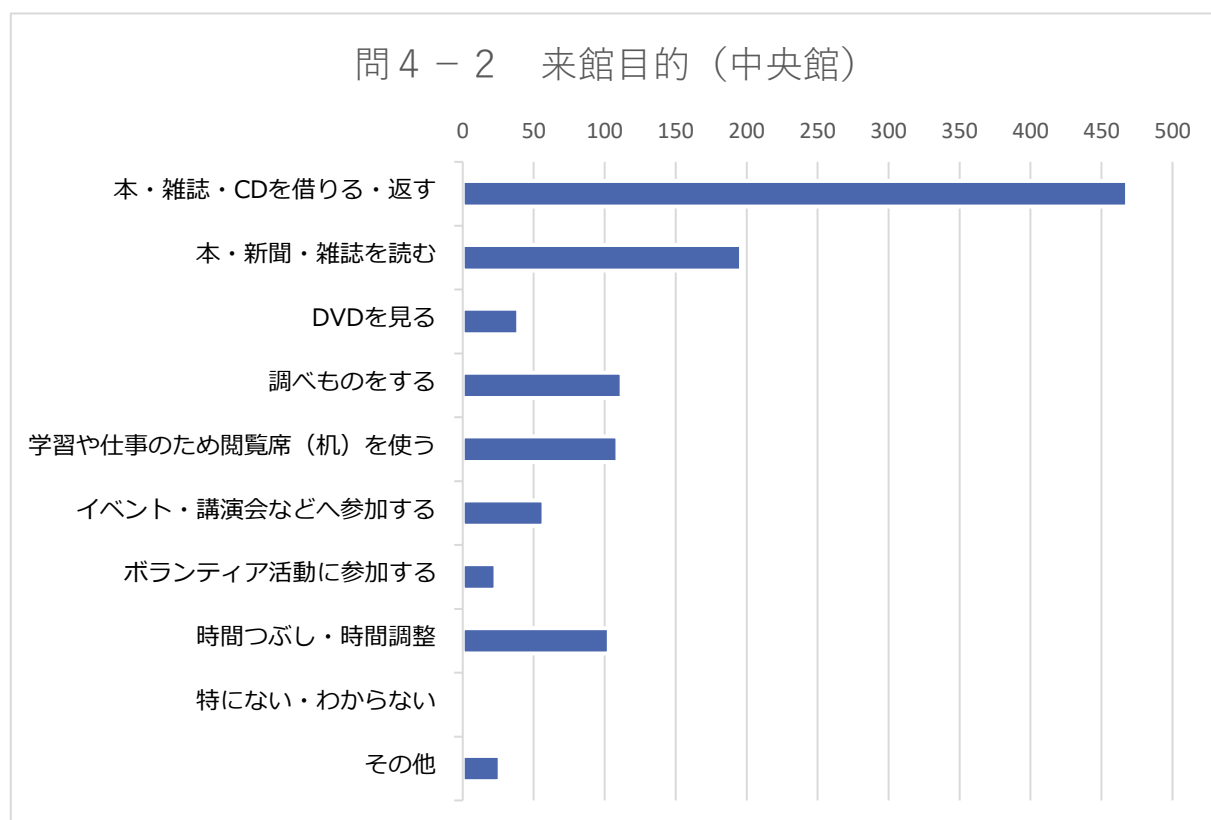
問4-1 来館頻度



問４－２ 問４で「来館した」を選んだ人にお聞きします。来館の主な目的は何ですか。
（複数回答可）

項目	回答数	比率※
本・雑誌・CDを借りる・返す	468	72.4%
本・新聞・雑誌を読む	196	30.3%
DVDを見る	39	6.0%
調べものをする	112	17.3%
学習や仕事のため閲覧席（机）を使う	109	16.9%
イベント・講演会などへ参加する	57	8.8%
ボランティア活動に参加する	23	3.6%
時間つぶし・時間調整	103	15.9%
特にない・わからない	2	0.3%
その他	26	4.0%

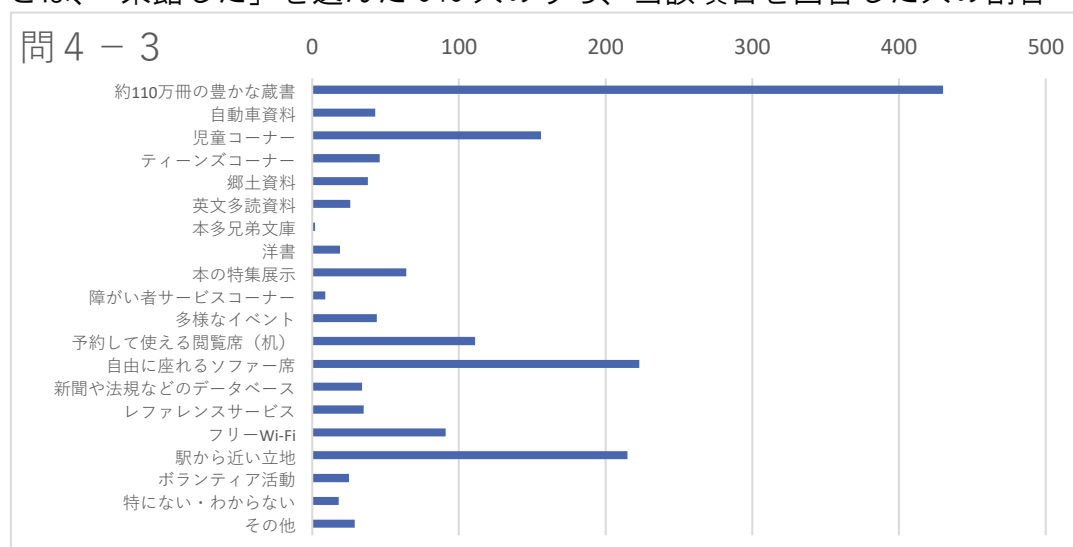
※比率とは、「来館した」を選んだ 646 人のうち、当該項目を回答した人の割合



問４－３ 問４で「来館した」を選んだ人にお聞きします。中央図書館で、魅力を感じた点は何ですか。（複数回答可）

項目	回答数	比率※
約 110 万冊の豊かな蔵書	430	66. 6%
自動車資料	43	6. 7%
児童コーナー	156	24. 1%
ティーンズコーナー	46	7. 1%
郷土資料	38	5. 9%
英文多読資料	26	4. 0%
本多兄弟文庫	2	0. 3%
洋書	19	2. 9%
本の特集展示	64	9. 9%
障がい者サービスコーナー（点字・録音図書など）	9	1. 4%
多様なイベント	44	6. 8%
予約して使える閲覧席（机）	111	17. 2%
自由に座れるソファ席	223	34. 5%
新聞や法規などのデータベース	34	5. 3%
レファレンスサービス（スタッフによる調べもののお手伝い）	35	5. 4%
フリーWi-Fi	91	14. 1%
駅から近い立地	215	33. 3%
ボランティア活動（読み聞かせや音訳・点訳など）	25	3. 9%
特にない・わからない	18	2. 8%
その他	29	4. 5%

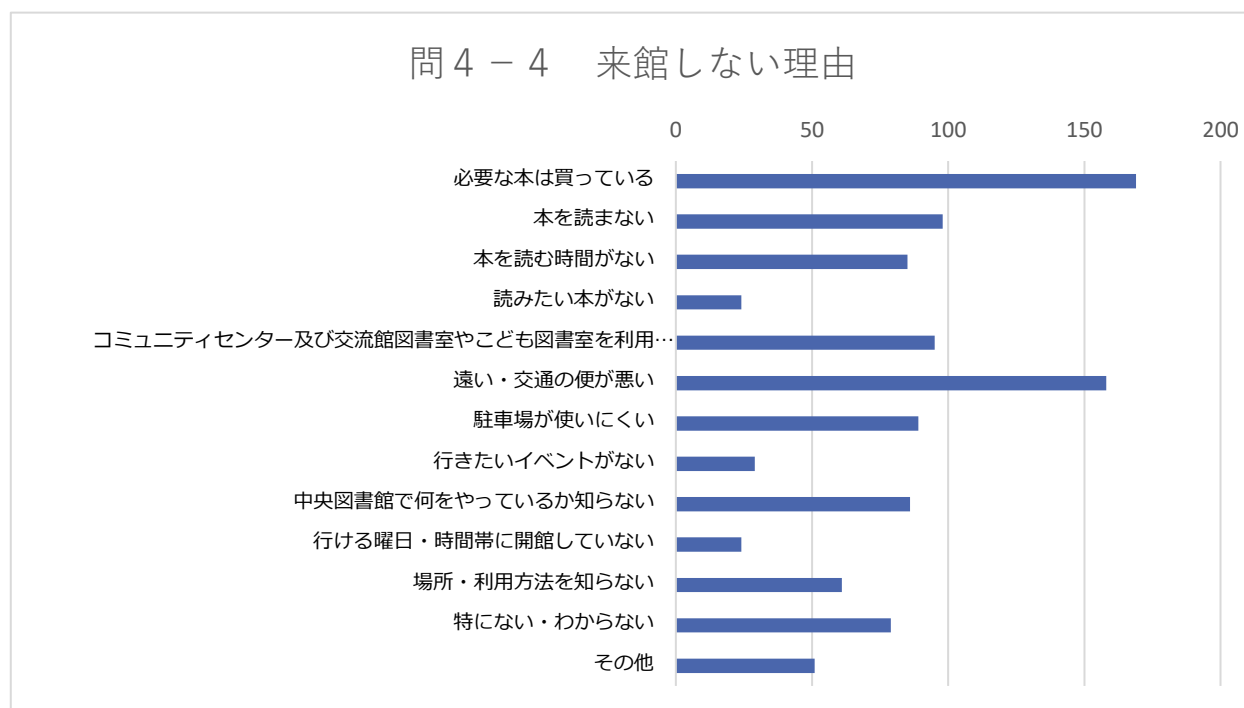
※比率とは、「来館した」を選んだ 646 人のうち、当該項目を回答した人の割合



問４－４ 問４で「来館していない」を選んだ人にお聞きします。来館しなかった理由は何ですか。（複数回答可）

項目	回答数	比率※
必要な本は買っている	169	29.6%
本を読まない	98	17.2%
本を読む時間がない	85	14.9%
読みたい本がない	24	4.2%
コミュニティセンター及び交流館図書室やこども図書室を利用している	95	16.6%
遠い・交通の便が悪い	158	27.7%
駐車場が使いにくい	89	15.6%
行きたいイベントがない	29	5.1%
中央図書館で何をやっているか知らない	86	15.1%
行ける曜日・時間帯に開館していない	24	4.2%
場所・利用方法を知らない	61	10.7%
特にない・わからない	79	13.8%
その他	51	8.9%

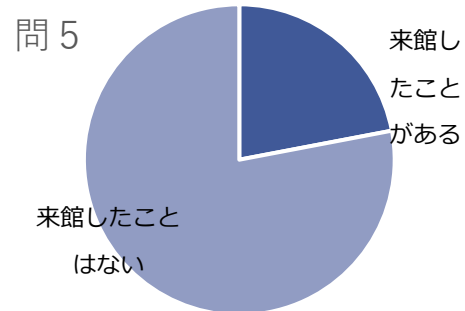
※比率とは、「来館していない」を選んだ 571 人のうち、当該項目を回答した人の割合



3 こども図書室の利用

問5 高橋町にあるこども図書室は、中央図書館の唯一の分館です。来館したことはありますか。

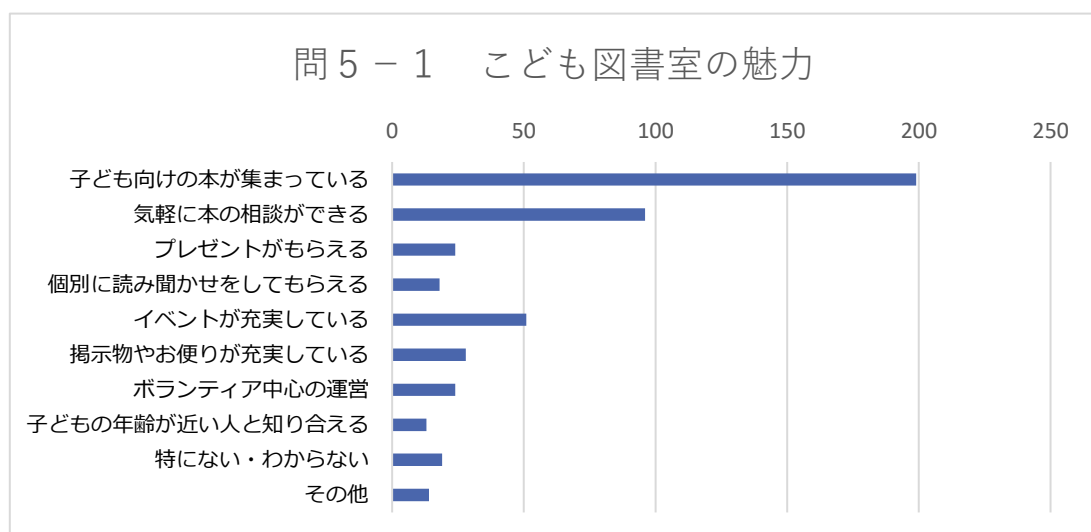
項目	回答数	割合
来館したことがある	250	22.0%
来館したことはない	886	78.0%



問5-1 問5で「来館したことがある」を選んだ人にお聞きします。こども図書室で魅力を感じた点は何ですか（複数回答可）

項目	回答数	比率※
子ども向けの本が集まっている	199	79.6%
スタッフやボランティアに気軽に本の相談ができる	96	38.4%
スタンプがたまるとプレゼントがもらえる	24	9.6%
個別に読み聞かせをしてもらえる	18	7.2%
イベント（おはなし会や講座など）が充実している	51	20.4%
掲示物やお便りが充実している	28	11.2%
ボランティア中心の運営	24	9.6%
子どもの年齢が近い人と知り合える	13	5.2%
特にない・わからない	19	7.6%
その他	14	5.6%

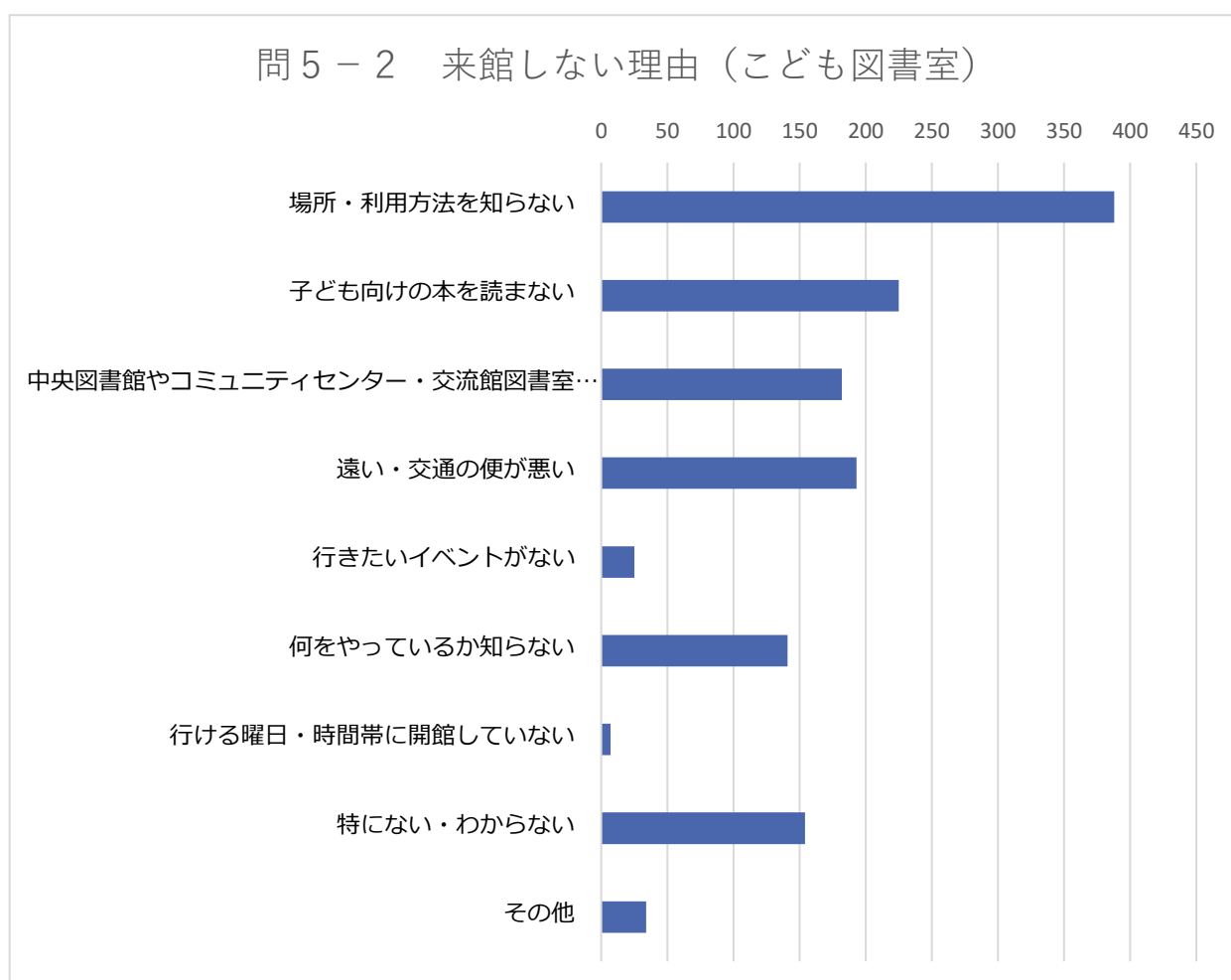
※比率とは、「来館したことがある」を選んだ250人のうち、当該項目を回答した人の割合



問５－２ 問５で「来館したことはない」を選んだ人にお聞きします。来館しなかった理由は何ですか。（複数回答可）

項目	回答数	比率※
場所・利用方法を知らない	388	43.8%
子ども向けの本を読まない	225	25.4%
中央図書館やコミュニティセンター・交流館図書室の利用で満足している	182	20.5%
遠い・交通の便が悪い	193	21.8%
行きたいイベントがない	25	2.8%
こども図書室で何をやっているか知らない	141	15.9%
行ける曜日・時間帯に開館していない	7	0.8%
特にない・わからない	154	17.4%
その他	34	3.8%

※比率とは、「来館したことはない」を選んだ 886 人のうち、当該項目を回答した人の割合



4 市内のコミュニティセンター及び交流館図書室の利用

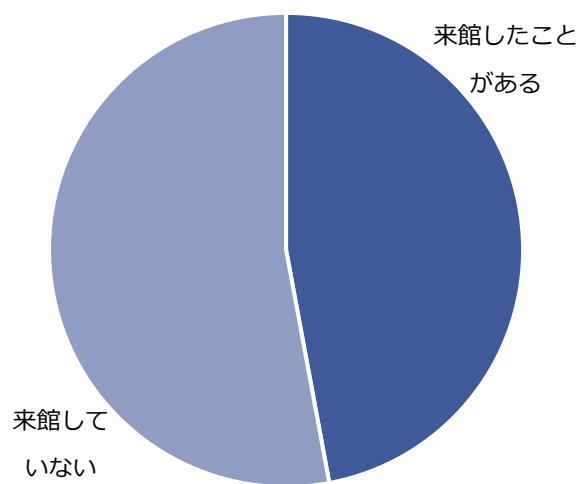
問6 この1年間に、市内のコミュニティセンター及び交流館図書室に来館しましたか。

項目	回答数	割合
来館したことがある	548	47.1%
来館していない	616	52.9%

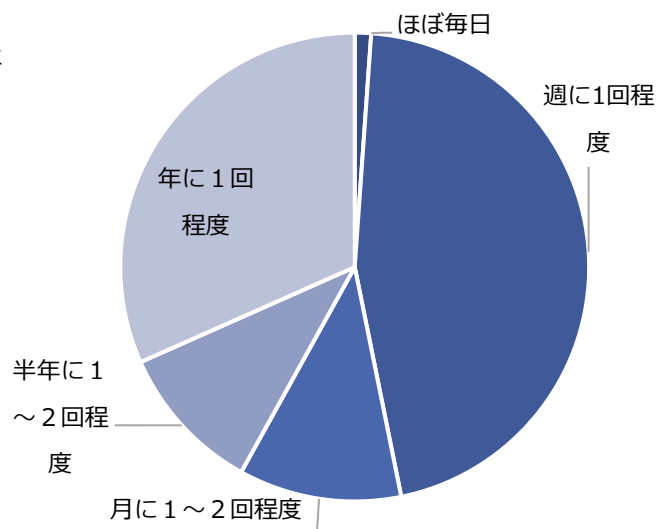
問6-1 問6で「来館した」を選んだ人にお聞きします。どの程度来館しましたか。

項目	回答数	割合
ほぼ毎日	6	1.1%
週に1回程度	244	45.7%
月に1～2回程度	60	11.2%
半年に1～2回程度	55	10.3%
年に1回程度	169	31.6%

問6 来館有無（ネット館）



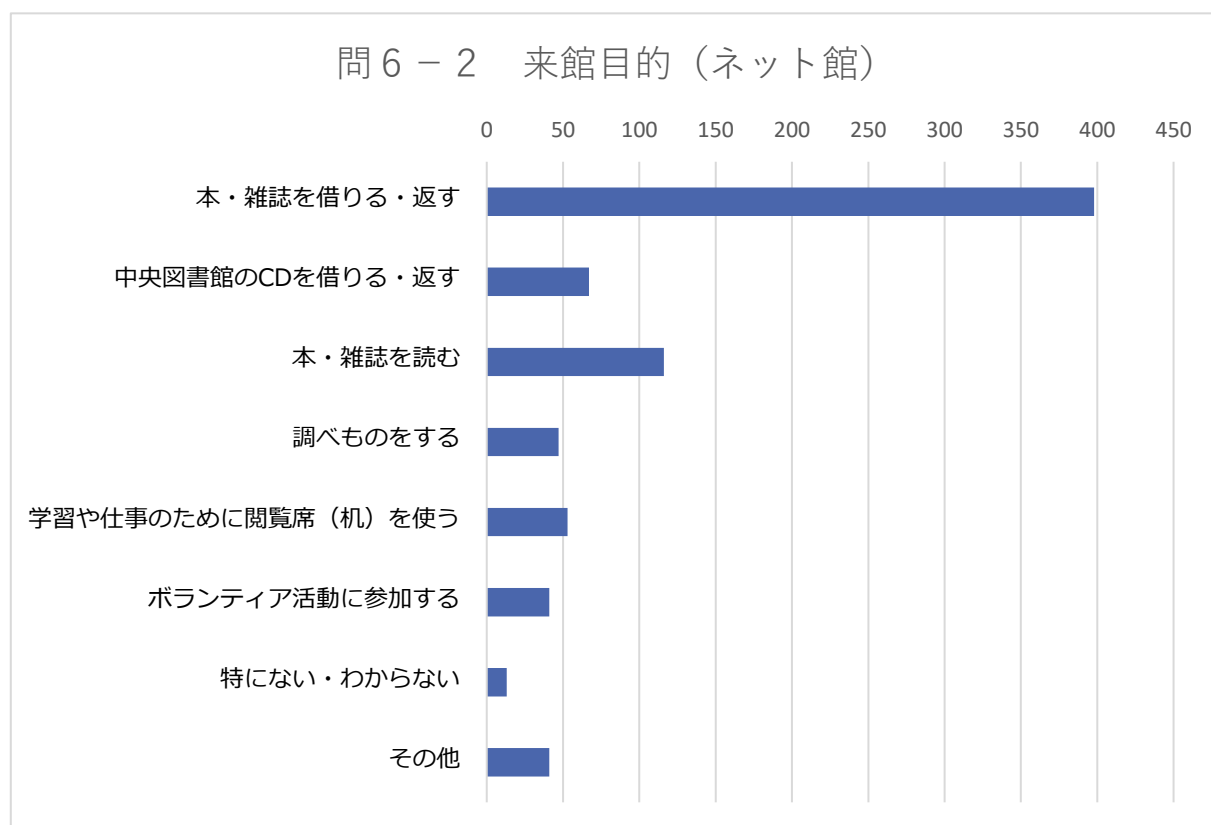
問6-1 来館頻度（ネット館）



問6－2 問6で「来館した」を選んだ人にお聞きします。来館の主な目的は何ですか。

項目	回答数	比率※
本・雑誌を借りる・返す	398	72.6%
中央図書館のCDを借りる・返す	67	12.2%
本・雑誌を読む	116	21.2%
調べものをする	47	8.6%
学習や仕事のために閲覧席（机）を使う	53	9.7%
ボランティア活動に参加する	41	7.5%
特にない・わからない	13	2.4%
その他	41	7.5%

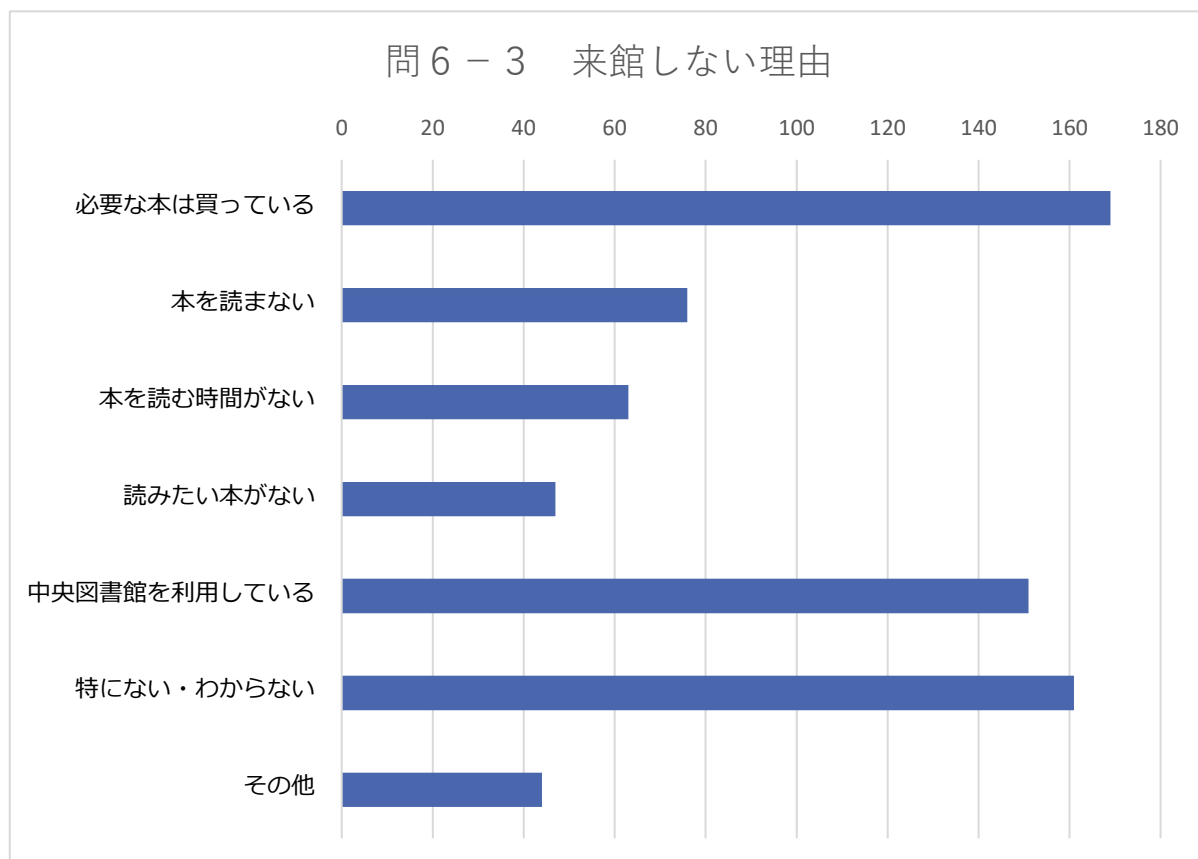
※比率とは、「来館したことがある」を選んだ548人のうち、当該項目を回答した人の割合



問6－3 問6で「来館していない」を選んだ人にお聞きします。来館しなかった理由は何ですか。（複数回答可）

項目	回答数	比率※
必要な本は買っている	169	27.4%
本を読まない	76	12.3%
本を読む時間がない	63	10.2%
読みたい本がない	47	7.6%
中央図書館を利用している	151	24.5%
特にない・わからない	161	26.1%
その他	44	7.1%

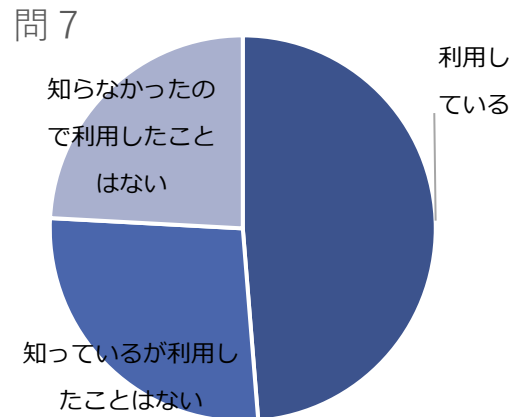
※比率とは、「来館していない」を選んだ616人のうち、当該項目を回答した人の割合



5 その他の図書館サービス

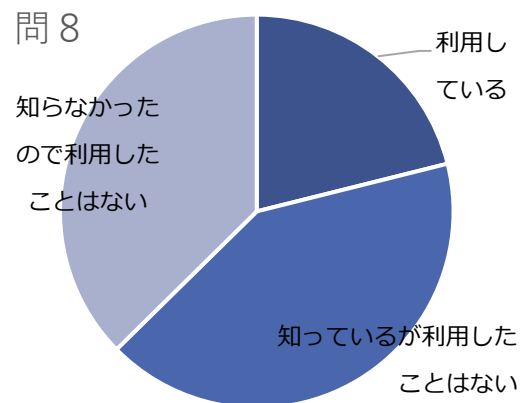
問7 中央図書館とコミュニティセンター及び交流館図書室の本は、他の図書室などでも貸出・返却できます。利用したことはありますか。

項目	回答数	割合
利用している	571	48.7%
知っているが利用したことはない	318	27.1%
知らなかったのて利用したことはない	283	24.1%



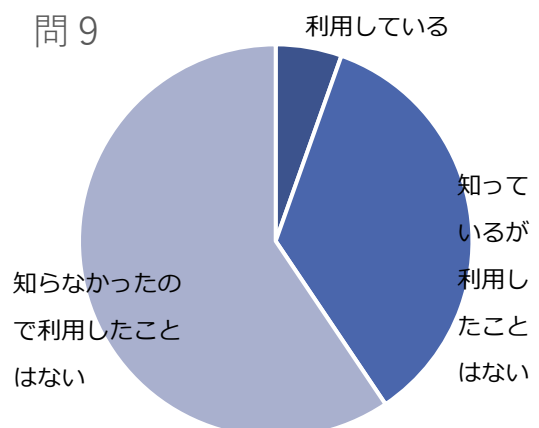
問8 中央図書館にはホームページがあります。利用したことはありますか。

項目	回答数	割合
利用している	249	21.1%
知っているが利用したことはない	490	41.5%
知らなかったのて利用したことはない	441	37.4%



問9 豊田市電子図書館では、スマートフォンなどで電子書籍を読めます。利用したことはありますか。

項目	回答数	割合
利用している	63	5.4%
知っているが利用したことはない	408	35.1%
知らなかったのて利用したことはない	690	59.4%

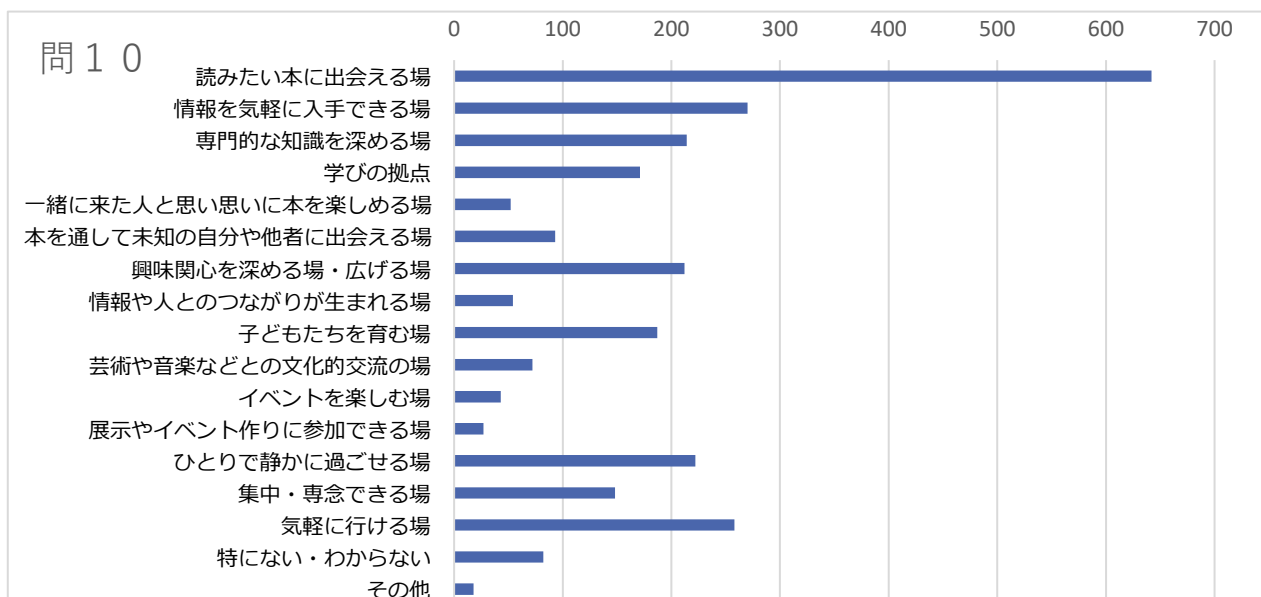


6 今後の中央図書館について

問 10 中央図書館はどんな場であればよいと思いますか。イメージに近いものを3つまで選んでください。

項目	回答数	比率※
読みたい本に出会える場	642	52.1%
情報を気軽に入手できる場	270	21.9%
専門的な知識を深める場	214	17.4%
学びの拠点	171	13.9%
一緒に来た人と思いいに本を楽しめる場	52	4.2%
本を通して未知の自分や他者に出会える場	93	7.5%
興味関心を深める場・広げる場	212	17.2%
情報や人とのつながりが生まれる場	54	4.4%
子どもたちを育む場	187	15.2%
芸術や音楽などとの文化的交流の場	72	5.8%
イベントを楽しむ場	43	3.5%
展示やイベント作りに参加できる場	27	2.2%
ひとりで静かに過ごせる場	222	18.0%
集中・専念できる場	148	12.0%
気軽に行ける場	258	20.9%
特にない・わからない	82	6.7%
その他	18	1.5%

※比率とは、全回答者 1,233 人のうち、当該項目を回答した人の割合

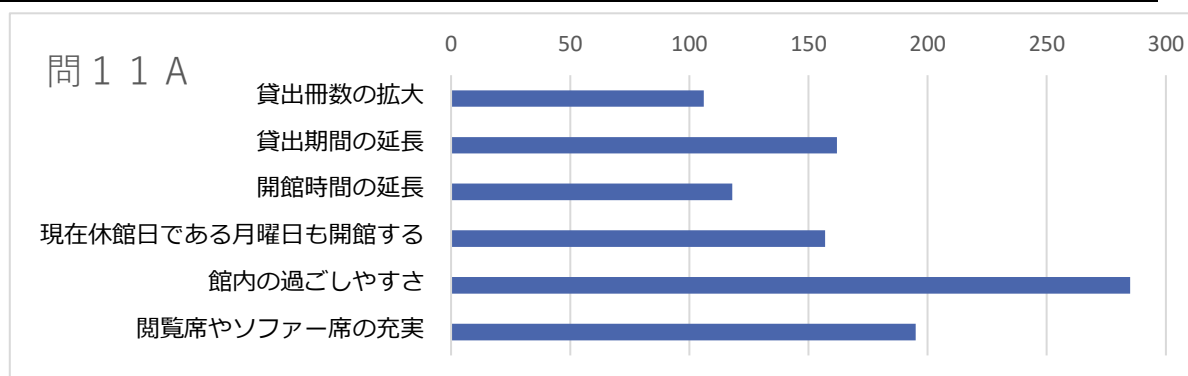


問 11 中央図書館がより魅力的になるために何が必要でしょうか。各グループから 1 つ選んでください。

※以下の表の比率とは、全回答者 1,233 人のうち、当該項目を回答した人の割合

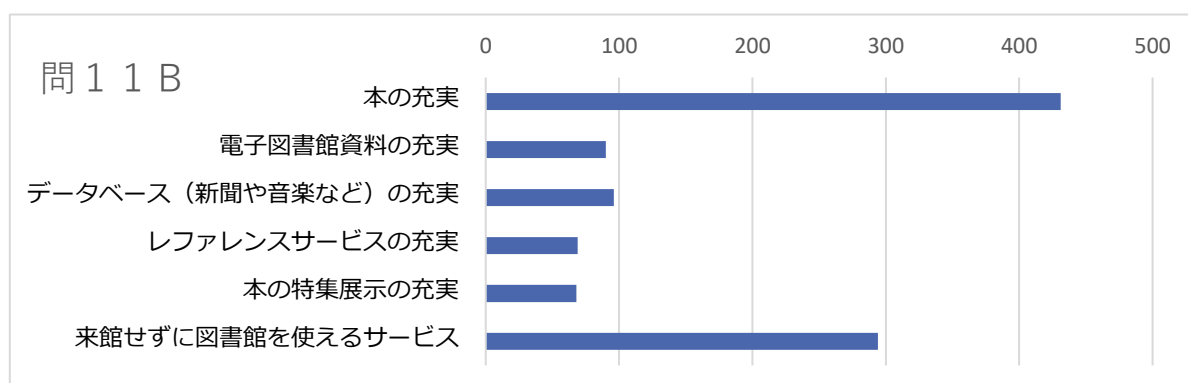
グループ (A)

項目	回答数	比率※
貸出冊数の拡大	106	8.6%
貸出期間の延長	162	13.1%
開館時間の延長（現在は午前 10 時～午後 8 時開館）	118	9.6%
現在休館日である月曜日も開館する	157	12.7%
館内の過ごしやすさ	285	23.1%
閲覧席やソファ席の充実	195	15.8%



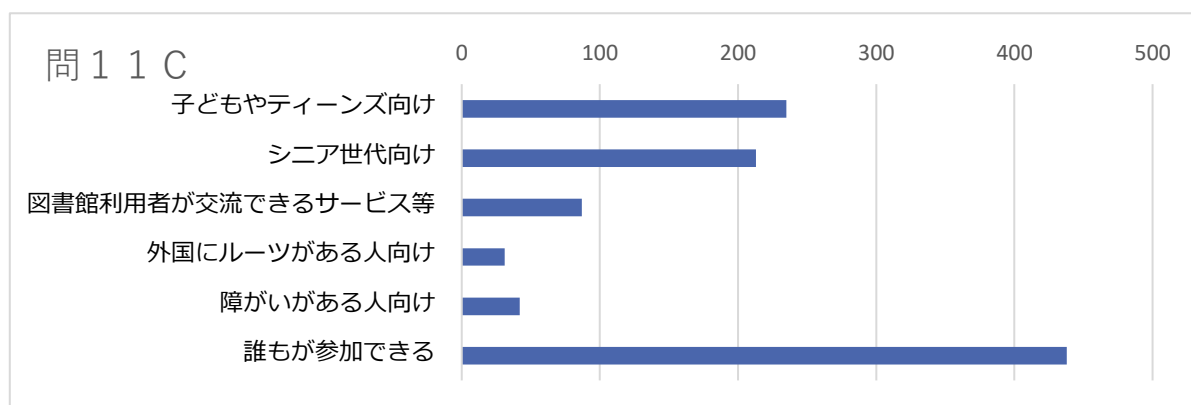
グループ (B)

項目	回答数	比率※
本の充実	431	35.0%
電子図書館資料の充実	90	7.3%
データベース（新聞や音楽など）の充実	96	7.8%
レファレンスサービス（スタッフによる調べもののお手伝い）の充実	69	5.6%
本の特集展示の充実	68	5.5%
来館せずに図書館を使えるサービス（本の配送など）の充実	294	23.8%



グループ (C)

項目	回答数	比率※
子どもやティーンズ向け（0～18歳）サービスやイベントなどの充実	235	19.1%
シニア世代向け（60代以降）サービスやイベントなどの充実	213	17.3%
図書館利用者が交流できるサービスやイベントなどの充実	87	7.1%
外国にルーツがある人向けのサービスやイベントなどの充実	31	2.5%
障がいがある人向けのサービスやイベントなどの充実	42	3.4%
誰もが参加できるサービスやイベントなどの充実	438	35.5%



グループ (D)

項目	回答数	比率※
図書館ボランティア活動への参加のしやすさ	163	13.2%
他の市民活動との連携	151	12.2%
他の行政サービスとの連携	159	12.9%
他の公共図書館との連携	258	20.9%
市内の学校との連携	222	18.0%
市内の企業との連携	70	5.7%

